

「おおとの森」を事例とした企業の里山の活用に関する考察

技術本部 中央研究所 総合技術開発部 徳江義宏 他

○キーワード

里山、生物多様性、企業の社会的責任（CSR）、おおとの森

○概要

生物多様性保全と生物資源の持続可能な利用モデルとして里山が注目される中、企業が里山の保全活動に参画することは、人材開発、保険休養、CSR等の里山の新たな価値を見いだせる可能性がある。建設コンサルタント会社である日本工営株式会社では、2009年から所有する里山の「おおとの森」の活用の取り組みを進めている。本論では、会社として活動に取り組む意義や経緯を示した上で、活動の基本方針や活動内容（案）について提示した。それらのうち、すでに取り組みを開始している調査研究、教育研修、野外レクリエーションの活動事例について紹介した。これらの活動を通して、今後様々な主体に対してコンサルティング事業を展開する上で有用な知見が得られると考えられた。また企業にとっての里山の価値を引き続き追究していくこと、地域が参画するための仕組みづくり、生物多様性保全技術の開発の必要性が今後の課題として挙げられた。

○技術ポイント

- ・日本工営株式会社が所有する里山、おおとの森における活動の事例について報告
- ・おおとの森の事例から、今後の会社としての取り組みの方向性や課題について考察

○図・表・写真等

おおとの森の基本方針と活動内容（案）

基本方針	狙い	活用方針	活動内容(案)
① 調査研究	技術力向上 対外的アピール	・里山生態系に関する研究の推進 ・特殊調査の実績づくり	・タケ資源利用検討 ・猛禽類保全調査研究 ・希少植物の移植・増殖 ・放棄水田の再生 等
② 教育研修	環境問題への理解 技術力向上	・各種社内研修の実施 ・専門的な調査技術の獲得	・新入社員現場研修 ・環境調査実地研修 ・猛禽類調査・保全研修 等
③ 野外レクリエーション	保険休養 出逢い・家族サービス	・家族等で楽しめる野外レクリエーションの実施 ・勤務社員のための健康増進 ・勤務社員のための出逢いづくり	・タケノコ狩り ・自然観察会 ・夏休み宿題対策イベント ・メタボ対策企画（あなたも里山も！すっきりプロジェクト） ・田植え合コン 等
④ 里山整備	地球環境への貢献 企業CSR 地域貢献	・地域協働による里山管理の仕組みづくり ・外部認証取得	・里山活動協定 ・CO ₂ 吸収量認証取得
⑤ 地域への教育機会の提供	地域貢献	・自然環境を実地で学ぶ場の創出 ・地域住民が日常的に利用できる場の創出	・葉草園、果樹園 ・千葉県「教育の森」制度への登録 等

おおとの森における活動の取り組みの実績

実施日	研修・企画名	担当部署	主な対象者	参加者数	目的	実施内容
2009年 5月22日	H21環境部新入社員研修	中央研究所・環境部	環境部新入社員	10名	技術開発、研修	・埋土種子実験区整備
2009年 6月 6日	H21猛禽類調査研修①	中央研究所・環境部	環境系技術者	10名	技術開発、研修	・サンバ生息域調査 ・サンバ営巣地調査
2010年 1月26～27日	H21猛禽類調査研修②	中央研究所・環境部	環境系技術者	10名	技術開発、研修	・猛禽類代替巣設置 ・木登り講習
2010年 4月27日	春のタケノコ狩り	中央研究所	技術本部と環境部及びその家族	17名	レクリエーション	・タケノコ狩り
2010年 5月10日	H22新入社員現場見学 ～SATOYAMAへGo！	事業企画室・環境部 中央研究所	平成22年度新入社員	40名	研修	・里山見学、問題点整理 ・整備作業（伐竹）
2010年 6月 2日	H22環境部新入社員研修 H22猛禽類調査研修①	中央研究所・環境部	環境部新入社員および環境系技術者	13名	技術開発、研修	・サンバ営巣地確認調査
2010年 7月 30日	第20回環境関連技術者 研修会	中央研究所・環境部	環境系技術者	39名	研修	・里山見学 ・利活用プラン案作成
2011年 4月 20日	H23新入社員現場見学	事業企画室・中央研究所 環境部	平成23年度新入社員	40名	研修	・里山整備作業 ・利活用案検討
2011年 4月 29日	おおと田植え	中央研究所・環境部	社内の有志及びその家族	34名	レクリエーション	・田植え ・タケノコ狩り
2011年 6月 16日	おおと田んぼ草取り	中央研究所・環境部	社内の有志及びその家族	23名	レクリエーション	・水田の草取り、畔草刈り ・タケノコ狩り